

## 自分らしく暮らせるまちを目指して 人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



### 【人の世に熟あれ、人間に光あれ】

これは、日本初の人権宣言と言われる水平社宣言の結びの言葉です。1922（大正11）年、被差別部落の人々が人間の尊厳と平等をうたい立ち上がった全国水平社の創立大会で読み上げられました。

今年はこの宣言から90年。その間「同和対策事業特別措置法」などが制定され、全国的に事業が進められました。本市においても、厳しい現実を踏まえ、部落差別を解消するための取り組みを行ってきました。その結果、生活環境などのハード面を中心に改善され、一定の効果はあり

ましたが、依然として結婚差別や土地差別など課題は残されており、今後も継続的な取り組みが必要な状況です。

### 【人権課題の解決に向けて】

さらに、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人市民などを取り巻く課題のほか、多様化する人権課題にも取り組む必要があります。本市では2005（平成17）年3月に「人権施策推進プラン」を策定して、その解消を目指しています。

策定から7年が経過した今年、市民の代表などからなる人権施策推進懇話会や、人権に関わる各審議会な

どからも幅広く意見を聴き、プランの一部を見直しました。

今後もこのプランを基に、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりを市民の皆さんとともに進めていきます。



創立大会が開催された京都市の岡崎公会堂  
（写真提供 水平社博物館）

**お問い合わせ先**  
人権・同和政策課  
☎354-8293 FAX354-8611

## 表紙こぼれ話

今回は、レスリングが盛んな三重県の中でも最もメンバーが多く、全国レベルの選手も多数所属する「四日市ジュニアレスリングクラブ」の皆さんに表紙を飾っていただきました。



年少から中学校3年生までの約50人が7月末に行われる全国少年少女レスリング選手権優勝を目指して猛練習を重ねています。

今年度の表紙のテーマは、「スポーツで頑張る市民」です。全12回さまざまな種目のスポーツに打ち込む人々をご紹介します。

今回は、4月に東京都で開催された「平成24年度ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会」で優勝した富田小学校4年生の寺本鈴さんと、大矢知興譲小学校2年生の稲垣和さんにレスリングへの思いを聞きました。

■寺本さん いとこのお兄ちゃんがレスリングをやっていたのを見て、自分もやりたいと始めました。最初は周りの子よりも遅れていて、くやしい思いもしたけれど、頑張って練習して、全国大会で優勝できるようになりました。次の大会でも優勝を目指します。



■稲垣さん 3歳の時に、二人のお姉ちゃんがやっていたのを見て始めました。苦しい練習もあるけれど、優勝して家族や友だち、近所の人から「おめでとう」と声をかけてもらうとうれしいです。これからも頑張ります。



### 取材後記

全国的にも50人もの選手が所属するレスリングクラブは珍しいとのことで、道場は、選手たちの熱気と活気に満ちあふれていました。すばやい動きと、組み合う迫力は、笑顔のかわいい普段の子どもたちの姿からは想像できないほど。インタビューをさせていただいた二人も、将来はオリンピックの金メダルが目標だとのこと。四日市から金メダリストが誕生することが楽しみです！

**お問い合わせ先**  
広報広聴課  
☎354-8244 FAX354-3974

## 有料広告掲載欄 CTY Wi-Fi を使おう!!

CTYインターネットユーザーは  
**無料で接続可能!**

ホームページ⇒<http://www.cty-net.ne.jp/>

CTY TEL 0120-30-6500 詳しくはお問合せください。  
月～土（9:00～19:00）



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 314,074人 [4月末日現在(-331)] ■火災件数 12件 [4月分(±0)] ■交通事故件数 864件 [4月分(+9)] (前年比)